

令和 3 年度

『けやきの郷』拠点区分
サービス区分
事業報告書

就労継続支援B型事業所『けやきの郷』
相談支援（一般・特定・障害児）事業所『サポートセンターけやき』
共同生活援助事業／グループホーム「ヴィラ佐白」

社会福祉法人仁多福社会

1. 経営理念
「献身・貢献」「規律・秩序」「努力・向上」「縁・感謝」
2. 基本方針
 - ・多様性に対応し、多様性に対応出来る人材を育成する
 - ・「働きたい」と思われる職場づくりに努める

社会福祉法人 仁多福社会

令和3年度 事業報告書

『けやきの郷』拠点区分

サービス区分

就労支援B型事業所『けやきの郷』

仁多福祉会法人理念

(献身・貢献 規律・秩序 努力・向上 縁・感謝)

『けやきの郷』基本方針

- ①ノーマライゼーション理念に基づく社会参加
- ②意欲と生きがいにつながる就労支援（エンパワメント）
- ③意思尊重とその反映（アドボカシー）
- ④専門的技術・知識による支援

運営理念

- ①専門的技術・知識による支援とノーマライゼーションに基づく社会参加
- ②意欲と生きがいにつながる作業参加
- ③意思尊重とその反映（アドボカシー）による地域生活支援
- ④各機関との連携による支援

社会福祉法人 仁多福祉会

○施設利用者状況（定員 20 名）

令和 3 年度新規利用者 1 名

令和 4 年 3 月 31 日 現在登録数 30 名 男 21 名 女 9 名 制度外受入れ 1 名

令和 3 年度退所者 希望により 1 名 施設利用変更 1 名 就労 1 名 死亡 1 名

○開所・利用状況

令和 3 年度 年間開所日数 241 日 1 カ月平均利用者実人数 30.1 人

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
人数	519	440	525	460	460	532	516
開所	21	18	22	20	20	20	21
一日平均	24.7	24.4	23.8	23	23	26.6	24.5

月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間
人数	494	430	401	382	437	5596
開所	20	20	19	18	22	241
一日平均	24.7	21.5	21.1	21.2	19.8	23.2

障害種別状況（令和 3 年 3 月 31 日現在）

身体 1 名 知的 12 名 精神 14 名 発達 3 名

年金受給者 有 28 名 無 2 名 生活保護受給者 2 名 無年金者 1 名

○年齢構成（20 歳～79 歳）

歳	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49
男	0 名	2 名	2 名	3 名	1 名	1 名	2 名
女	0 名	1 名	1 名	0 名	1 名	0 名	0 名

歳	50～54	55～59	60～64	65～69	70～	平均年齢
男	4 名	1 名	1 名	1 名	3 名	45.3
女	2 名	2 名	2 名	0 名	0 名	47.6

○主たる介護者状況（利用者の年代ごとの介護者状況）

本人の年齢	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代
両親	4 名	5 名	0 名	1 名	0 名	0 名
母親	1 名	0 名	1 名	3 名	0 名	0 名

父親	1名	0名	0名	0名	0名	0名
姉	0名	0名	0名	2名	1名	0名
兄	0名	0名	0名	0名	0名	0名
義姉	0名	0名	0名	0名	0名	0名
既婚者	0名	0名	0名	2名	0名	0名
グループホーム	0名	1名	2名	1名	2名	2名
施設入所	0名	0名	0名	0名	0名	1名

*両親が介護者になっており、両親ともに75歳以上の利用者が2名、母親（片親）が介護者になっており、母親が75歳以上の利用者が4名在籍している。

○過去の作業活動（就労支援収入）と工賃総支給額（交通費支給額を含む）の推移

	作業活動（就労支援）収入	工賃総支給額
28年度	10,290,573円	6,398,848円
29年度	11,668,649円	6,794,942円
30年度	14,673,661円	7,361,767円
令和元年度	13,117,918円	7,212,008円
令和2年度	12,155,213円	4,867,750円
令和3年度	14,283,806円	6,820,128円
月平均工賃支給額 一人	16,425円	

就労支援状況（短時間就労を含む）

令和元年度（1名） 令和2年度（1名） 令和3年度（1名）
 現在就労継続者 7名（うち施設契約利用者4名） 施設外作業従事者 1名

バザー出店状況

新型コロナウイルス流行の為、すべて中止になる。

○福祉事業活動

施設関連行事

実施日	行事名	場所	活動内容
	交流スポーツ大会	グリーンヒル佐藤	新型コロナウイルス感染予防のため中止。
	ソフトバレー交流会	スポーツセンター	新型コロナウイルス感染予防のため中止。
	雲南スポーツ大会	アスパル	新型コロナウイルス感染予防のため中止。

6月22日	避難訓練	けやきの郷	火災時の避難訓練。
8月12日	環境整備	けやきの郷	盆前大掃除
10月1日	さくらおろち湖にて昼食（バス遠足代替）	さくらおろち湖	新型コロナウイルス感染予防のため代替えて昼食会。
10月6日	交通安全教室	けやきの郷	警察官による道路の歩き方、横断の仕方について講習を受ける。
11月16日	避難訓練	けやきの郷	ハザードマップにて住んでる地域での避難場所の確認を行なう。
12月3日	忘年会	けやきの郷	弁当、手品、ビンゴゲーム
3月11日	年度末お疲れ様会	けやきの郷	弁当昼食会。
<p>備考</p> <p>○見学・実習受入れ 特別支援学校出雲養護学校雲南分教室・一般社団法人みかたきつと（通信制高校）ホームケア島根（介護職員初任者研修）</p> <p>※今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、下記の受入れはすべて中止にする。</p> <p>○ボランティア受入れ つくしの会（月2～3）作業・行事参加を通して利用者との交流</p> <p>○健康教室 月1回（主に第三木曜）ストレッチ等健康に関する講義をリハビリ学院の金弦敬子先生にさせていただく。また、ボランティア（主に第二週）にも来ていただく。</p> <p>○にこにこの会との交流会 にこにこ運動会・にこにこ学習発表会に参加</p>			

職員研修

開催日	研修	場所
7月1・2日 6月22日～9月10日	相談支援従事者初任者研修	朱鷺会館・パルメイト出雲（出雲） リモート研修含む
7月13日	サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修	朱鷺会館（出雲）
7月26日	生涯支援区分認定調査員及び市町村審査会委員会合同研修	松江合同庁舎（松江）
9月8・9・10日	就業支援基礎研修	男女共同参画センター（太田市）
1月22・23日	精神障がい者地域生活移行・地域定着研修会	リモート研修（けやきの郷）

○施設内会議

職員会議

開催月	主要内容
4月	けやきの郷スポーツ大会。パソコン業務。利用者ケース報告。
5月	避難訓練。けやきの郷スポーツ大会。パソコン業務。
6月	利用者ケース報告。パソコン業務。
7月	新規事業。作品展。施設外作業。利用者ケース報告。雲南スポーツ大会。
8月	日帰り旅行。利用者ケース報告。新規作業（和紙）
9月	介護初任者研修実習生。交通安全教室。新規作業（破袋）。
10月	けやきの郷中期展望。年内の作業予定。椎茸作業（破袋）。避難訓練。
11月	利用者忘年会。雲南分教室実習生。年末年始GH体制。丸共リサイクル。
12月	明蓬館高校実習生。雲南分教室実習生。カレンダー販売。利用者ケース報告。
1月	基礎身体機能調査。生活習慣病（内部研修）。
2月	年度末慰労会。送迎サービス。パソコン業務。けやきの郷移転。新規作業。
3月	椎茸作業賃金確認。年度末慰労会反省。令和4年度職員体制。

ケース会議

開催月	主要内容
4月	けやきの郷スポーツ大会。利用者ケース報告。今年度のケース会の年間計画。
5月	生活部会、作業部会今年度計画。利用者ケース報告。雲南スポーツ大会。
6月	生活・作業部会の報告。利用者ケース報告。避難訓練。内部研修。
7月	各利用者の生活・作業目標の検討。利用者ケース報告。日中一時支援の体制 避難訓練反省。
8月	各利用者の生活・作業目標の検討。利用者のケース報告。雲南スポーツ大会。
9月	各利用者の生活・作業目標の検討。利用者ケース報告。日帰り旅行の代替案。送 迎希望者。パソコン業務状況報告。
10月	各利用者の生活・作業目標の検討。施設内研修。GH利用予定者。避難訓練。利 用者忘年会。
11月	各利用者の生活・作業目標の検討。カレンダー。あいサンホーム清掃業務。利用 者忘年会。避難訓練。利用者ケース報告。
12月	利用者ケース報告。パソコン業務の近況。忘年会の報告・反省。
1月	利用者ケース検討。年度末慰労会。サンコー新規作業。
2月	利用者ケース報告。虐待研修（内部研修）。消防計画。作業の見直し。
3月	利用者ケース報告。年度末慰労会。合銀跡地の活用。運営規定の追加事項。

令和3年度相談支援事業サポートセンターけやき事業報告

平成25年度に開設した相談支援事業所を地域の中核として位置付け、その機能の一層の充実を図る。

【目的】

社会福祉法人仁多福祉会が開設するサポートセンターけやきにおいて実施する相談支援事業の指定・特定相談支援事業及び、障害児相談支援事業の適正な運営を確保するために必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、相談支援の円滑な運営管理を図ると共に、利用者、障害児及び障害児の保護者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な居宅介護の提供を確保する事を目的とする。

【人員配置】

施設管理責任者 1名 就労Bけやきの郷兼務
 相談支援専門員 1名 専任
 相談支援員 1名 就労Bけやきの郷兼務
 相談支援員補助 1名 就労Bけやきの郷兼務

【相談件数】

延べ1,051件

【相談支援を利用している障害者等の人数】

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
相談支援を利用している障害者等の人数	障害者	実人員	24	20	20	16	23	23	22	17	18	19	14	17	233
		身体障害													0
		重症心身障害													0
		知的障害	6	5	7	4	6	8	7	5	5	5	4	6	68
		精神障害	14	12	11	12	14	14	13	10	11	12	9	10	142
		発達障害	2	3	2		3	1	1	2	2	2	1	1	20
		高次脳機能障害													0
		その他	2						1						3
	障害児	実人員	2	4	3	2	2	4	3	6	5	3	3	5	42
		身体障害		1					1	2	1	1			6
		重症心身障害													0
		知的障害	2	1	2	2	1	1	3	4	2		1	3	22
		精神障害													0
		発達障害						2			1	1	2	2	8
高次脳機能障害														0	
その他			2	1		1	1		1	1	1			8	
計	実人員	26	24	23	18	25	27	25	23	23	22	17	22	275	
	身体障害	0	1	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	6	
	重症心身障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	知的障害	8	6	9	6	7	9	10	9	7	5	5	9	90	
	精神障害	14	12	11	12	14	14	13	10	11	12	9	10	142	
	発達障害	2	3	2	0	3	3	1	2	3	3	3	3	28	
	高次脳機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	2	2	1	0	1	1	1	1	1	1	0	0	11	

【支援方法】

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
支援方法	訪問	20	18	6	8	9	7	9	7	13	14	2	2	115
	来所相談	34	48	41	36	32	45	14	12	21	38	9	33	363
	同行	21	24	14	10	6	6	7	6	8	14	11	14	141
	電話相談	24	26	21	21	30	25	22	17	15	19	14	21	255
	電子メール	1	5	1	0	4	2	0	0	0	3	0	0	16
	個別支援会議		1	3	0	0	2	2	4	1	1	2	2	18
	関係機関	12	7	18	10	28	9	14	19	13	4	5	2	141
	その他	2			0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	計	114	129	104	85	109	96	68	65	71	93	43	74	1,051

【支援内容】

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
支援内容	福祉サービスの利用等に関する支援	4	0	4	4	5	9	13	21	7	7	5	9	88
	障害や病状の理解に関する支援	10	0	0	0	12	0	0	0	0	2	1	0	25
	健康・医療に関する支援	39	42	44	24	32	34	14	19	15	26	11	13	313
	不安の解消・情緒安定に関する支援	32	35	18	29	26	23	16	14	10	12	14	21	250
	保育・教育に関する支援	4	8	3	1	2	4	3	5	3	0	0	3	36
	家族関係・人間関係に関する支援	17	25	22	37	30	9	16	19	15	27	7	18	242
	家計・経済に関する支援	1	19	6	6	2	8	2	1	0	9	1	6	61
	生活技術に関する支援	32	19	26	18	39	11	16	23	26	40	14	31	295
	就労に関する支援	12	13	22	14	24	15	10	11	10	3	6	13	153
	社会参加・余暇活動に関する支援	12	26	4	11	2	4	1	0	3	0	0	0	63
	権利擁護に関する支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	3	2	0	0	2	4	3	3	17
	計	163	187	149	144	177	119	91	113	91	130	62	117	1,543

【地域生活支援】

障害者及び引きこもり等、特別な支援が必要な方に対する、保健・医療・教育・福祉連携による支援会議の開催

障害児及び特別な支援が必要な幼児・児童に対して、福祉サービスの利用に関する支援の実施
 児童発達支援事業所や療育機関、保育所、学校、教育委員会、保健師等、関係機関との連携や情報共有の場としての個別支援会議の開催

【日中一時支援事業】

2名受け入れ 年間利用日数 250日

〈活動内容〉

小中学校放課後支援、小中学校長期休暇支援、作業参加、調理実習、社会体験（放課後児童クラブスマイルとの連携、公共交通機関の利用等）、日中の見守り支援、おんせんキャンパス送迎支援

【障害支援区分認定調査】（施設利用に伴うもの・地域生活支援に伴うもの）

件数 9件 （県内 6件 町内 3件）

【職員研修・地域関係機関との連携会議】

- 第1回精神科救急医療体制整備雲南圏域連絡調整会議 (アンケート調査、資料配布のみ)
雲南障がい者就業・生活支援センター連絡会議 (新型コロナの影響で会議開催中止)
雲南地区生活支援会議 (新型コロナの影響で会議開催中止)
障がい者相談支援従事者初任者研修 3年7月1日～2日、8月5日、9月9日～10日
県障害支援区分認定調査員研修 3年7月26日
雲南圏域医療的ケア児の在宅療養生活支援研修会 (新型コロナの影響で会議開催中止)
雲南圏域精神障がい者地域移行・地域定着支援会議 (新型コロナの影響で会議開催中止)
第2回精神科救急医療体制整備雲南圏域連絡調整会議 (アンケート調査、資料配布のみ)
雲南圏域障害支援区分認定調査員研修 (新型コロナの影響で会議開催中止)
相談支援事業所と市町村との連絡会議 (新型コロナの影響で会議開催中止)

【雲南圏域総合支援部会・地域部会】

- 総合支援協議会運営委員会 (新型コロナの影響で会議開催中止)
総合支援協議会総会 (新型コロナの影響で資料配布のみ)
奥出雲町地域部会 (新型コロナの影響で会議開催中止)
就労支援専門部会 年1回実施
相談支援部会 (新型コロナの影響で会議開催中止)

相談支援事業所そよかぜ館主催

高次脳機能障がい者支援ネットワーク会議 (不参加)

NPO 法人ふきのとう主催

障がい者虐待防止研修 3年10月14日

令和3年度
共同生活援助（外部サービス利用型）「グループホームヴィラ佐白」
事業報告書

令和3年度は新型コロナウイルス感染予防を徹底し、毎朝の検温、手指消毒等に取り組み利用者の方の生命を守ることに努めた。今年度は利用者の方の入退居はあったが、現在8名の入居となっている。短期・体験利用として1名の利用があった。

新規入居者・短期入居者・体験利用の対応及び全利用者への精神面・健康管理・生活のライフ作り・自立へ向けた支援への取り組みを行ってきた。また、利用者の方が安心・安全な環境作りと地域に根差したホームの生活作りに努めた。

1 共同生活援助の目標

地域における居住の場としてグループホームの充実を図り、利用者が地域で安心して、その人らしく生活ができるよう支援を行った。又、家族との交流を大切にし、家族・本人の意向に基づいて良い関係が保たれる様に調整・助言を行なった。

2 利用者定員と利用者状況

利用定員 10名（うち1名は緊急受け入れ）

利用状況（短期、体験利用者含む）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	年間利用日数
270日	279日	261日	261日	234日	213日	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	2658日
221日	221日	240日	247日	224日	248日	
4月	5月	6月	7月	8月	9月	年間利用人数
9人	9人	8.7人	8.4人	7.5人	7.1人	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	7.9人
7.1人	7.3人	7.7人	7.9人	8人	8人	

利用者状況

男性	5名
女性	3名

年齢構成

33歳	41歳	48歳	60歳	61歳	71歳
1名	1名	1名	2名	1名	2名

3 サービスの提供

利用者すべての方に個別支援計画の作成を行い、個別支援計画に基づいて支援を行った。

4 支援内容

世話人等により服薬、日々の観察、疾病予防、健康管理に努め、状況に応じて通院同行、入院等に関する支援も行った。又、共同生活住居において、整容、身だしなみ、入浴、排せつ又は食事の支援、相談その他日常生活上の援助を適切かつ効果的に行った。個々のニーズに沿った日中活動の支援を行い余暇の充実にも努めた。生活習慣病等の予防、咀嚼、飲み込みに配慮した食事提供を実施する為、献立を外部に委託、バランス良い食事提供、食べやすさに心がける食事提供を行なっている。

5 年間行事

新型コロナウイルスの影響もあり例年通りの行事の実施は出来なかったが、施設内での行事の実施や状況に応じて外出や地域との交流を図る行事を行ない利用者の方のストレス軽減、余暇の充実に努めた。

主な年間行事

月	施設行事	地域行事
4月	お花見弁当（11日）	
5月	お菓子作り（2日） お楽しみ会食（4日）	
7月	施設内会食（24日）	
8月	バーベキュー（11日） お弁当会食（14日）	
11月	紅葉ドライブ（14日）	
12月	クリスマス会食（24日） そば打ち体験（29日） 年末会食（31日）	
1月	お節会食（1日）	
2月	節分会食（4日）	
3月	施設内会食（3日）	

※新型コロナウイルス感染予防の為地域行事には参加をしなかった。

6 防災訓練

災害発生時に、迅速に利用者が安全な場所に避難誘導し、利用者の安全に務めるため年2回火災避難訓練等を実施した。

- ・令和2年6月30日
- ・令和3年3月16日

7 短期入所（令和元年6月1日開設）

運営の実績

1. 目的

居宅の生活が一時的に困難な状況な方・家族の負担軽減・宿泊体験等利用者の要望に基づき短期入所事業を実施した。

2. 定員

1名（空床がある場合）

月	利用者数	利用日数
10月	1名	4日
11月	1名	11日
合計	2名	15日

3. その他

短期入居利用に限らず、日中において入浴サービス・余暇の充実等を必要とする人達の受け入れも行い、他の利用者とふれあうことで生活意欲・自立意欲の向上への取り組みも行った。

8 職員の資質向上

1. 施設内研修の実施。

令和4年2月生活習慣について

2. 外部研修

3. 職員健康保持の為にストレスチェック等の実施。

4. 担当者関係者会議を月1回開催。

5. 関係機関との支援会議の開催。（支援ケースに応じて）

令和3年度

地域生活支援事業 けやき広場

【目的】 町が実施する地域生活支援事業の一環として、障がい児者の社会参加の促進
誰もが参加できる内容に取り組み、併せて地域との交流を促す

【実施】

日付	事業名	内容	実施場所	人数	備考
5月22日(土)	スポーツ交流会	ポッチャ 卓球バレー	三成中央公民館	25	高校生やリハビリ生のボランティア参加 それにより、参加者に普段触れ合うことのない 方たちとの交流が出来た。
8月26日(木) ～ 9月2日(木)	表現自由な作品展	・特別支援学級生徒作品 ・事業所利用者作品 ・養護学校生徒作品	横田コミュニティーセンター		休日にも鑑賞できるような会場での開催 お陰で参加者が沢山来ていただいた 鑑賞された方へのアンケートもとり、次回へ 活かせる内容となった
12月27日(木)	けやき広場、日中一時支援 両用用具準備	【物品購入】 ・ノートパソコン ・プロジェクター			
2月8日(金)	次年度準備	【物品購入】 ・ゲーム機(事業使用用)			

反省・感想

- ・今年度も新型コロナウイルスの影響によって事業の縮小や回数の減少により計画的な事業展開が難しく
予定通りには実施できない事もあった。
- ・スポーツ交流会は、学生ボランティアの参加が多く、準備から片付け、交流も学生から進んで行っている
様子が感じられた。
- ・作品展は、前回より多くの学校に協力してもらい作品数も多かった。
休日にも開催ができる場所だったので一般の方や保護者にも鑑賞してもらうことができた。
様々な、作品が並んだことで、大人から子供まで見られる良い展示会だった。
- ・けやき広場での事業でパソコンを使用できるように購入。
また、日中一時支援で利用者の過ごし方にあわせ、パソコンでしか出来ないような
経験を提供できるように、体制を整えた。
- ・前年度同様小学校からの依頼があり授業の一環でポッチャ講習を行った。直接、事業とは関係ないが
パラリンピックの授業からポッチャの体験をしたいとの事だった。
ほかにも、自治会の交流会で使用したいという問い合わせもあった。

次年度に向けての課題

- ・新型コロナウイルスの感染の様子を伺い徐々に地域との交流の機会を増やしたい。
- ・新しい機材を使用した事業を展開していき、継続して出来るように地域の機関と協力しながら実施していきたい